

区政運営基本方針の成果目標の達成に向けた取組状況について(阿倍野区)

豊かな地域社会の形成に向けた区政運営基本方針		平成27年度 めざす成果および戦略										
		計画			自己評価							
		めざす状態	アウトカム	戦略	戦略のアウトカムに対する有効性	アウトカムの達成状況	前年度	個別	全体	戦略の進捗状況	課題	今後の対応方向 改善策
ア:有効であり、継続して推進 イ:有効でないため、戦略を見直す	A:順調 B:順調でない				a:順調 b:順調でない							
1	「大きな公共を担う活力ある地域社会づくり」に向けて											
(1)	豊かなコミュニティの実現											
			[1-1] ・地域の連携による自主防災体制を確立し、区民一人ひとりの意識を高め、「災害に強い、安全・安心のまちをめざします。」	・自らの避難ルートと避難場所を決めている区民の割合:27年度末までに80% ・区内全地域(10地域)によるまちなか防災訓練の継続実施	・中央防災会議による被害想定等の見直しに対応し、当区の地域特性やこれまで地域で培われてきた「つながり」や「きずな」を礎に策定した「阿倍野区地域防災計画」の修正を行い周知を図ります。 ・地域の自主防災組織の強化を行うため、地域住民の防災に対する意識啓発、知識やスキルの習得および向上を促進するとともに、自主防災活動を担う人材の育成や、活動の顕彰を行い、地域防災力の向上を図ります。 ・避難行動要支援者に対する支援を強化します。	ア	・自らの避難ルートと避難場所を決めている区民の割合 :71.7% ・区内全地域(10地域)によるまちなか防災訓練の継続実施:10地域	73.8% 10地域	B A	A a		
⑦	人と人とのつながりづくりの促進	身近な地域の中で「声かけ」、「見守り」、「助け合い」、「支え合い」を実感している区民の割合	H29年度までに50%以上	[1-2] ・区民の防犯意識を高めるとともに、区民が区内の安全性が高まったと感じられる状態	・平成29年度末までに区役所が警察等と連携して行う防犯の各種取組みを総合的にみて、区内の街頭犯罪抑止に役立っていると感じる区民の割合が60%以上 ・平成27年 街頭犯罪発生件数の減少(25年比) ・平成27年 子どもへの声かけ等事案件数の減少(25年比)	・通学路、公園など地域の安全巡視・啓発等を行うとともに、地域・学校園との連携を深め、子どもへの犯罪や事故の未然防止に努めます。 ・警察等関係機関の協力のもと区内の街頭犯罪の発生状況を把握し、状況に応じた防犯啓発活動を地域と協働で実施します。	ア	・区役所が警察等と連携して行う防犯の各種取組みを総合的にみて、区内の街頭犯罪抑止に役立っていると感じる区民の割合64.8% ・街頭犯罪件数:27年度末までに50%減(25年比) 9.3%減 ・子どもへの声かけ事案件数:27年度末までに50%減(25年比) 84.3%増	11.0%増 42.2%増	A B B	A a	

区政運営基本方針の成果目標の達成に向けた取組状況について(阿倍野区)

豊かな地域社会の形成に向けた区政運営基本方針		平成27年度									
		計画					自己評価				
		取組内容	業績目標	撤退基準	前年度までの実績	取組実績	業績目標の達成状況		課題	改善策	
:目標達成 ()取組は予定どおり実施 ()取組を予定どおり実施しなかった :目標未達成 ()取組は予定どおり実施 ()取組を予定どおり実施しなかった 撤退基準未達成	:有効 x:有効でないため見直す										
1	「大きな公共を担う活力ある地域社会づくり」に向けて										
(1)	豊かなコミュニティの実現										
		[1-1-2] ・地域における防災活動の中核となる地域防災リーダーの育成を図るため、地域防災リーダーの訓練や研修を実施します。 ・地域による「自助」「共助」による災害時対応のスキル向上や地域コミュニティの醸成を図るため、地域の自主防災組織が実施する「まちなか防災訓練・避難所開設運営訓練」等の地域の取組を支援します。また、複数地域での同時開催を実施します。 ・防災訓練等の既存のイベントに、参加が得られにくい若年層や子育て世代の参加を促進させるようなゲーム的要素を取り入れるなどの工夫を検討します。 ・災害時対応に貢献できる区内の若い防災力である学生等を将来にわたり地域防災の担い手として育成していくため、阿倍野区内のすべての市立中学校で取り組んでいる防災教育「防災研修および訓練の実施」を区内の国立・私立を含めた小中高生へ拡大します。また若年層が中心となった避難所開設運営訓練を実施します。 ・また災害時避難所の機能充実を図るために発電機の配備を始めます。 ・防災教育実施学校数:10校 ・若年層による避難所開設運営訓練実施学校数:1校 ・避難所開設運営訓練等での発電機の使用訓練:10地域	・地域防災リーダーの業務にやりがいや責任を感じている防災リーダーの割合:90% ・防災訓練に参加した区民のうち、「今後も参加したい」と思う区民の割合:80% ・防災教育を受けた生徒のうち、「地震に対する日ごろの備えが必要だ」と思った生徒の割合:90% ・自主防災組織の避難所運営委員会等のうち「発電機の配備について必要と感じている」割合:80%	業績目標が達成できなければ、事業を再構築します。	26年度実績 ・地域防災リーダー訓練:延べ400人(全地域) ・地域防災リーダー新任研修:55人(全地域) ・まちなか防災訓練等:9地域実施(1地域雨天中止) ・中学校防災訓練:5校実施 ・中学生防災研修:5校実施 ・小学生防災教育:4校実施	・地域防災リーダー訓練実施:4回 延べ347名 ・まちなか防災訓練・避難所開設運営訓練 全10地域12回開催 5,540名 ・阿倍野区金塚地域、西成区山王、飛田地域とまちなか防災訓練協働開催 ・子供向け水消火器によるストラックアウトの開催や阿倍野区マスコットキャラクターあべのん使用による若年層や子育て世代への参加促進 ・あべのスポーツフェスタにおいて、小学生を対象とした防災競技の実施 ・大阪市立小中学校での避難所開設運営についての啓発実施:14校 ・災害時用発電機の配備 9地域(1地域協議中) ・大阪市立中学校防災訓練実施:5校 ・大阪市立中学校防災研修実施:5校 ・大阪市立小学校防災教育実施:10校 ・若年層に対し避難所開設運営の研修実施:1校 ・避難所開設運営訓練等での発電機の使用訓練:9地域	・地域防災リーダーの業務にやりがいや責任を感じている防災リーダーの割合:98% ・防災訓練に参加した区民のうち、「今後も参加したい」と思う区民の割合:92% ・防災教育を受けた生徒のうち、「地震に対する日ごろの備えが必要だ」と思った生徒の割合:98% ・自主防災組織の避難所運営委員会等のうち「発電機の配備について必要だと感じている」割合:90%	()	-		
㊦	人と人とのつながりづくりの促進	身近な地域の中で「声かけ」、「見守り」、「助け合い」、「支え合い」を実感している区民の割合	[1-2-1] 自転車盗防止のための二重ロックおよびひったくり防止カバーの無料取付を行う防犯キャンペーン活動(年12回)、ナンバープレート盗難防止ネジ取付キャンペーン活動(年2回)を実施します。 区内市立小学校(10校)の新1年生全員に防犯ブザーを配付します。 区役所「地域みまもり隊」職員により、自転車や青色防犯パトロール車での通学路巡回・防犯パトロールを行います。平日毎日	・区役所が警察等と連携して行う防犯啓発活動等の取組みが、区内の街頭犯罪抑止に役立っていると感じる区民の割合が60%以上	業績目標が達成できなければ、実施手法を再検討し事業を再構築します	26年度実績[25年度実績] ・区民との協働による自転車盗対策を中心とした防犯啓発活動:12回[13回] ・関係機関と連携し、ナンバープレート盗難防止ネジ取付活動の実施:2回[1回] ・区内市立小学校新1年生へ防犯ブザー配付[新1年生及び2~6年生へ防犯ブザー配付] ・下校時の通学路巡回[区内市立小学校(10校)区内幼稚園・保育園・保育所(27か所)]:平日毎日[平日毎日] ・青色防犯パトロール車による巡視[区内全域]:平日毎日[平日毎日]	・自転車盗防止のための二重ロックおよびひったくり防止カバーの無料取付を行う防犯キャンペーン活動の実施(年15回)(4月15日)(5月21・26・27日)(6月12日)(7月10日)(8月10日)(9月11日)(10月16日)(11月11・13日)(1月8・12日)(2月12日)(3月16日) ・ナンバープレート盗難防止ネジ取付キャンペーン活動(年2回)(5月22日)(10月19日) ・区内市立小学校(10校)の新1年生全員に防犯ブザーの配布を実施(4月) ・区役所「地域みまもり隊」職員により、自転車や青色防犯パトロール車での通学路巡回・防犯パトロールの実施:平日毎日	区役所が警察等と連携して行う防犯啓発活動等の取組みが、区内の街頭犯罪抑止に役立っていると感じる区民の割合が66%	()	-	
		[1-2-3] イベント等において、「こども110番の家」の啓発及び協力家庭等の募集を行います:年3回以上 子ども自身への周知啓発の取組みとして、小学校入学説明会等での子ども向け啓発チラシを配付します:年10回	・「こども110番の家」の取組みが、子どもへの犯罪の抑止に役立っていると感じる区民の割合が60%以上	上記目標が達成できなければ、実施手法を再検討し事業を再構築します。	26年度実績[25年度実績] ・イベント等における啓発及び協力家庭等募集:6回[6回] ・小学校入学説明会等での子ども向け啓発チラシの配付:10回[10回]	・イベント等での「こども110番の家」の啓発及び協力家庭等の募集の実施(年5回)(4月2日)(7月5日)(10月12・14日)(3月6日) ・小学校入学説明会等での子ども向け啓発チラシを配付(年10回)	「こども110番の家」の取組みが、子どもへの犯罪の抑止に役立っていると感じる区民の割合が65.8%	()	-		

区政運営基本方針の成果目標の達成に向けた取組状況について(阿倍野区)

豊かな地域社会の形成に向けた区政運営基本方針		平成27年度										
		めざす成果および戦略										
		計画			自己評価							
項目	成果指標と目標値	めざす状態	アウトカム	戦略	戦略のアウトカムに対する有効性	アウトカムの達成状況	前年度	個別	全体	戦略の進捗状況	課題	今後の対応方向 改善策
					ア:有効であり、継続して推進 イ:有効でないため、戦略を見直す			A:順調 B:順調でない				
		[1-4] 誰もが住み慣れたまちで安心して暮らすために、地域福祉のネットワークを構築するなど、地域の福祉力を向上させます。 区民が自身の健康に関心を持ち、運動習慣を通じて健康づくりに取り組む区民を増やします。	・福祉局実施「地域における要介護者の見守りネットワーク強化事業」との連携協力を進め要介護者本人やその家族等に対するアンケートにおいて「安全・安心を感じるようになった」と感じる者の割合を29年度末までに70%以上を目指す。 ・高齢者の尊厳を守り、それぞれの権利を擁護していくことをめざして、各地域包括支援センターが行う権利擁護講演会や健康展など人の集まる機会をとりえ、広く権利擁護意識の向上と各相談機関の周知に取り組むことにより、問題解決の参考になったと感じた人の割合:27年度末までに60%以上 ・高齢者への福祉サービスの享受、財産管理の促進を図るため、各地域包括支援センターと連携して、区社会福祉協議会が支援する「あんしんさぼーと事業(高齢者、認知症等)」の利用率の向上を図ります:27年度末までに20%増(24年度比) 各種取り組みを行い、健康に関心を持ってもらうことにより、 ・特定健診の受診率:27年度末までに22%(22年度:19%) ・メタボリックシンドローム該当者および予備軍の割合:27年度末までに22%(20年度:24.4%)	・地域住民の生活課題を把握し、世代間がつながりを持って総合的に支えていく福祉コミュニティの形成を図っていくため、地域福祉コーディネーターを配置し、地域福祉の活動を支援します。 ・地域の団体と連携して、高齢者の権利擁護に取り組めます。 ・広く区民に対し健康増進、生活習慣病予防、疾病等に関する正しい知識の啓発を図り、各種団体と連携して健康づくりに関する情報を発信し、区民の健康に対する関心を高めます	ア	・未測定(要介護者へのアンケートは未実施ではあるが、登録及びボランティアの活動状況は順調である。) ・高齢者の尊厳を守り、それぞれの権利を擁護していくことをめざして、各地域包括支援センターが行う権利擁護講演会や健康展など人の集まる機会をとりえ、広く権利擁護意識の向上と各相談機関の周知に取り組むことにより、問題解決の参考になったと感じた人の割合:97%	96%	A				
		[3-2] 地域の教育資源を学校教育に導入するなど、地域に開かれた学校づくりを進めるとともに、各小学校区で子どもたちの健全育成に向けて、学校・家庭・地域が一体となってネットワークづくりを行い、子どもを幅広く見ます。 区内における青少年健全育成・非行防止活動事業を実施するさまざまな活動主体が連携・協働により進められている。	・「青少年の健全育成の機運が高まった」と回答した割合:28年度末までに80%以上 ・地域のまちづくりに関する活動が地域団体やNPO、企業などさまざまな活動主体の連携・協働により進められていると感じている区民の割合:28年度末までに60%以上	・「はく(みネット連絡会)」等を開催し、各学校での取組みを区民に周知・紹介することによって、情報共有・意見交換の機会づくりを行い、小学校区をこえた他地域、他団体との交流を促進します。 ・青少年指導員・青少年福祉委員が中心となり学校・地域と協働した夜間巡視や青少年活動を行うことで青少年の非行防止の活動を実施します。	ア	未測定(健全育成事業への参加者の8割以上が良かったとの回答であり、健全育成の機運が高まってきていると考えられる。) 地域のまちづくりに関する活動が地域団体やNPO、企業などさまざまな活動主体の連携・協働により進められていると感じている区民の割合:19.7%	-	A				
⑦ 人と人とのつながりづくりの促進	身近な地域の中で「声かけ」、「見守り」、「助け合い」、「支え合い」を実感している区民の割合	H29年度までに50%以上	[3-4] 地域住民による自律的な地域運営と豊かなコミュニティの形成に向け、あらゆる世代の住民参加を増やします。 地域団体の活動状況を理解する区民を増やします。 さまざまな主体の連携・協働により実施される地域活動を増やします。	・住んでいる地域で、地域団体の活動内容や会計の状況を知る機会があると感じている区民の割合:29年度末までに60%以上 ・地域活動協議会のうち、市の財政的支援を地域の実情に即して活用できていると感じている地域の割合:100% ・地域活動に新たな担い手が増えてきたと感じる地域の割合:29年度末までに80%以上 ・地域のまちづくりに関する活動が地域団体やNPO、企業などさまざまな活動主体の連携・協働により進められていると感じている区民の割合:29年度末までに60%以上	・自分たちの地域のことについて、地域団体をはじめ、NPO・企業など地域のまちづくりに関する活動主体が課題やテーマごとに考え、話し合い、課題解決に向けて活動する仕組みである地域活動協議会の活動を支援します。 ・若い世代やマンション住民などこれまで地域活動への関わりが薄かった人たちははじめてあらゆる世代を対象として、地域における「つながり」「きずな」の大切さを伝えるとともに、世代間の協力のもと、地域で支え合い助け合って楽しく暮らせるまちづくりを推進します。 ・地域団体がより一層の民主的で開かれた組織運営と会計の透明性の確保ができるよう支援します。 ・地域活動に関心がありながら関わりが薄かった人たちが活動できる機会や場の拡充など、地域活動の担い手の拡大を支援します。 ・若年層が自ら考え、参加するまちづくりの機会を提供します。	住んでいる地域で、地域団体の活動内容や会計の状況を知る機会があると感じている区民の割合54.8% 地域活動協議会のうち、市の財政的支援を地域の実情に即して活用できていると感じている地域の割合90.0% 地域活動に新たな担い手が増えてきたと感じる割合46.7% 地域のまちづくりに関する活動が地域団体やNPO、企業などさまざまな活動主体の連携・協働により進められていると感じている区民の割合:19.7%	25.5%	A				
					ア		100.0%	A				
					ア		38.0%	A				
					ア		23.9%	B	A	a		

区政運営基本方針の成果目標の達成に向けた取組状況について(阿倍野区)

豊かな地域社会の形成に向けた区政運営基本方針		平成27年度									
		計画				具体的取組					
		項目	成果指標と目標値	取組内容	業績目標	撤退基準	前年度までの実績	取組実績	業績目標の達成状況		課題
:目標達成 ()取組は予定どおり実施 ()取組を予定どおり実施しなかった :目標未達成 ()取組は予定どおり実施 ()取組を予定どおり実施しなかった :撤退基準未達成	:有効 x :有効でないため見直す										
			[1-4-1] 地域ごとに地域福祉コーディネーターを配置するなど、地域福祉のネットワークづくりのための活動を支援します。 ・地域福祉コーディネーターを各地域に1人配置 ・要援護者名簿を新たに1,000人以上作成 ・見守り訪問隊のボランティアを新たに100人以上発掘・登録 ・事業の周知(広報あべの年2回掲載、ツイッター等による周知)	・見守り訪問隊のボランティアが地域でのボランティア活動:年間10,800回(300人×3回×12月)以上	・業績目標が達成できなければ、事業を再構築します。	平成26年度実績・要援護者名簿(H27.2末、1,018件) 平成25年度実績・要援護者名簿(1,137件) ・見守り訪問ボランティア(110人)	・地域福祉コーディネーターを各地域に1人配置 ・要援護者名簿を新たに1,271人作成(H28.2末現在) ・見守り訪問隊のボランティア数(261人) ・事業の周知(広報あべの年1回掲載、ツイッター等による周知)	見守り訪問隊のボランティアが地域でのボランティア活動:年間13,223回(H28.2末現在)	()	-	-
			[3-2-2] ・青少年指導員及び青少年福祉委員が中心となり、区内全小学校区で毎月1回の夜間巡視を継続実施します。 ・青少年が交流し信頼関係や友情を育む諸活動(駅伝大会・ドッチボール大会・中学生絵画コンクール、雪山研修等)を継続して実施します。	・「夜間巡視」の延参加者数(H25.1、163人)の80%以上の参加。	・上記、延参加者数が80%を達成できなければ、事業を再構築します。	・区内全小学校で毎月地域と協働して夜間校外巡視を月1回実施 ・駅伝大会1回、ドッチボール大会1回、中学生絵画コンクール1回、雪山研修1回実施	・区内全小学校区で毎月1回の夜間巡視 ・青少年が交流し信頼関係や友情を育む諸活動(中学生絵画コンクール(10月11日)駅伝大会(11月1日)ドッチボール大会(12月13日)雪山研修(2月28日～3月1日)等)の実施	「夜間巡視」の延参加者数(H27年度):930人、80%	()	-	-
			[3-4-1] 区長認定を受けた「地域活動協議会」に対して、区長が地域ごとに指定する分野については必ず活動を実施しなければならないが、それ以外の分野を任意に付加して活動できる補助金(地域活動協議会補助金)を交付。(10地域)	全ての地域活動協議会が補助金を活用し事業実施	地域活動協議会補助金を活用しない地域活動協議会があれば事業を再構築します。	補助金を活用した地域活動協議会数 25年度 8地域中8地域 26年度 10地域中9地域	10地域に対して補助金を交付	補助金を活用した地域活動協議会数 27年度 10地域中10地域	()	-	-
			[3-4-2] 中間支援組織(まちづくりセンター)を活用した地域活動協議会の自律運営にかかる支援、並びに地域の特性や実情に応じた活動の担い手の拡大など地域コミュニティの活性化につながる支援を実施 ・広報サポート・会計サポート(10地域)	・まちづくりセンターは地域活動に役に立っていると感じる区民の割合:60%以上 ・まちづくりセンターの活動について期待している区民の割合:60%以上	上記割合が50%以下の場合は事業を再構築します。	26年度:まちづくりフォーラム(1回)、広報サポート(1回)、会計サポート(2回)実施 まちづくりセンターは地域活動に役に立っていると感じる区民の割合:73.4% まちづくりセンターの活動について期待している区民の割合:51.7%	27年度:地域活動フォーラム(1回)、広報ワークショップ(全体会3回)、会計勉強会(全体会2回)実施	まちづくりセンターは地域活動に役に立っていると感じる区民の割合:71.1% まちづくりセンターの活動について期待している区民の割合:77.4%	()	-	-
			[3-4-3] 超高層ビルのオープンに合わせて、地域・企業との連携を図り、阿倍野区のPRをテーマにした企画を行うことをきっかけに若い担い手を発掘し、地域コミュニティの活性化につながるスタッフ(あべ若丸)の育成を行います。 ・「あべ若丸」の企画・運営による「あべの今昔祭り」の開催 ・地域団体・企業等との交流やイベントへの参加(10回以上)「あべ若丸」の企画・運営による「あべの今昔祭り」の開催 地域団体・企業等との交流やイベントへの参加(10回以上)	「あべ若丸」の地域イベントでの認知度が50%以上	地域イベントでの認知度が40%未満の場合、また、若い担い手が20人以上集まらなければ、事業を再構築します。	あべ若丸スタッフ人数:25年度 34人、26年度 30人 地域団体・企業等との交流やイベントへの参加 :25年度 9回、26年度15回 地域イベントでの認知度:26年度(10月5日今昔祭りにて測定) 44.0%	「あべ若丸」の企画・運営によるイベントの実施:3回 地域団体・企業等との交流やイベントへの参加 :20回	「あべ若丸」の企画・運営によるイベントの実施:3回 地域団体・企業等との交流やイベントへの参加 :20回 地域イベントでの認知度:27年度(3月21日第1回桃ヶ池水質改善プロジェクトにて測定) 58.7% あべ若丸スタッフ人数:35人	()	-	-

⑦ 人と人とのつながりづくりの促進

身近な地域の中で「声かけ」、「見守り」、「助け合い」、「支え合い」を実感している区民の割合

H29年度までに50%以上

区政運営基本方針の成果目標の達成に向けた取組状況について(阿倍野区)

豊かな地域社会の形成に向けた区政運営基本方針		平成27年度										
		計画					自己評価					
		取組内容	業績目標	撤退基準	前年度までの実績	取組実績	業績目標の達成状況		課題	改善策		
:目標達成 ()取組は予定どおり実施 ()取組を予定どおり実施しなかった :目標未達成 ()取組は予定どおり実施 ()取組を予定どおり実施しなかった 撤退基準未達成	:有効 x:有効でないため見直す											
(2)	多様な主体の協働(マルチパートナーシップ)の実現											
㊦	地域活動協議会を核とした自立した地域運営の支援	校区等地域において、様々な活動主体が協働し、その話し合いのもと合意を形成し自ら地域課題の解決に取り組むなど、地域が自律的に運営されていると感じている区民の割合	H29年度までに50%以上	[3-4-1] 区長認定を受けた「地域活動協議会」に対して、区長が地域ごとに指定する分野については必ず活動を実施しなければならないが、それ以外の分野を任意に付加して活動できる補助金(地域活動協議会補助金)を交付。(10地域)	全ての地域活動協議会が補助金を活用し事業実施	地域活動協議会補助金を活用しない地域活動協議会があれば事業を再構築します。	補助金を活用した地域活動協議会数 25年度 8地域中8地域 26年度 10地域中9地域	10地域に対して補助金を交付	補助金を活用した地域活動協議会数 27年度 10地域中10地域	()	-	-
				[3-4-2] 中間支援組織(まちづくりセンター)を活用した地域活動協議会の自律運営にかかる支援、並びに地域の特性や実情に応じた活動の担い手の拡大など地域コミュニティの活性化につながる支援を実施 ・広報サポート・会計サポート(10地域)	・まちづくりセンターは地域活動に役に立っていると感じる区民の割合:60%以上 ・まちづくりセンターの活動について期待している区民の割合:60%以上	上記割合が50%以下の場合は事業を再構築します。	26年度:まちづくりフォーラム(1回)、広報サポート(1回)、会計サポート(2回)実施 まちづくりセンターは地域活動に役に立っていると感じる区民の割合:73.4% まちづくりセンターの活動について期待している区民の割合:51.7%	27年度:地域活動フォーラム(1回)、広報ワークショップ(全体会3回)、会計勉強会(全体会2回)実施	まちづくりセンターは地域活動に役に立っていると感じる区民の割合:71.1% まちづくりセンターの活動について期待している区民の割合:77.4%	()	-	-
㊧	校区等地域を越えた多様な主体のネットワーク拡充の支援	校区等地域を越えたまちづくりに関する活動が、地域活動協議会をはじめ地域団体や市民、NPO、企業など様々な活動主体の連携、協働により進められていると感じている区民の割合	H29年度までに50%以上	[3-2-2] ・青少年指導員及び青少年福祉委員が中心となり、区内全小学校区で毎月1回の夜間巡視を継続実施します。 ・青少年が交流し信頼関係や友情を育む諸活動(駅伝大会・ドッチボール大会・中学生絵画コンクール、雪山研修等)を継続して実施します。	・「夜間巡視」の延参加者数(H25 1,163人)の80%以上の参加。	・上記、延参加者数が80%を達成できなければ、事業を再構築します。	・区内全小学校で毎月地域と協働して夜間校外巡視を月1回実施 ・駅伝大会1回、ドッチボール大会1回、中学生絵画コンクール1回、雪山研修1回実施	・区内全小学校区で毎月1回の夜間巡視 ・青少年が交流し信頼関係や友情を育む諸活動(中学生絵画コンクール(10月11日)駅伝大会(11月1日)ドッチボール大会(12月13日)雪山研修(2月28日~3月1日)等)の実施	・「夜間巡視」の延参加者数(H27年度):930人、80%	()	-	-
				[3-4-2] 中間支援組織(まちづくりセンター)を活用した地域活動協議会の自律運営にかかる支援、並びに地域の特性や実情に応じた活動の担い手の拡大など地域コミュニティの活性化につながる支援を実施 ・広報サポート・会計サポート(10地域)	・まちづくりセンターは地域活動に役に立っていると感じる区民の割合:60%以上 ・まちづくりセンターの活動について期待している区民の割合:60%以上	上記割合が50%以下の場合は事業を再構築します。	26年度:まちづくりフォーラム(1回)、広報サポート(1回)、会計サポート(2回)実施 まちづくりセンターは地域活動に役に立っていると感じる区民の割合:73.4% まちづくりセンターの活動について期待している区民の割合:51.7%	27年度:地域活動フォーラム(1回)、広報ワークショップ(全体会3回)、会計勉強会(全体会2回)実施	まちづくりセンターは地域活動に役に立っていると感じる区民の割合:71.1% まちづくりセンターの活動について期待している区民の割合:77.4%	()	-	-
				[3-4-3] 超高層ビルのオープンに合わせて、地域・企業との連携を図り、阿倍野区のPRをテーマにした企画を行うことをきっかけに若い担い手を発掘し、地域コミュニティの活性化につながるスタッフ「あべ若丸」の育成を行います。 ・「あべ若丸」の企画・運営による「あべの今昔祭り」の開催 ・地域団体・企業等との交流やイベントへの参加(10回以上)	「あべ若丸」の企画・運営による「あべの今昔祭り」の開催 地域団体・企業等との交流やイベントへの参加(10回以上) 「あべ若丸」の地域イベントでの認知度が50%以上	地域イベントでの認知度が40%未満の場合、また、若い担い手が20人以上集まらなければ、事業を再構築します。	あべ若丸スタッフ人数:25年度 34人、26年度 30人 地域団体・企業等との交流やイベントへの参加 :25年度 9回、26年度15回 地域イベントでの認知度:26年度(10月5日今昔祭りに測定) 44.0%	「あべ若丸」の企画・運営によるイベントの実施:3回 地域団体・企業等との交流やイベントへの参加 :20回	「あべ若丸」の企画・運営によるイベントの実施:3回 地域団体・企業等との交流やイベントへの参加 :20回 地域イベントでの認知度:27年度(3月21日第1回桃ヶ池水質改善プロジェクトにて測定) 58.7% あべ若丸スタッフ人数:35人	()	-	-
[3-5-1] 区内のNPO、高等教育機関、生涯学習ルーム関係者等と定期的に意見交換を行い、連携・協働した地域での学習会・講座等を実施することで、生涯学習に関わる人材育成と活動支援を進めます。 ・地域教育活動ネットワーク事業「英語活動サポーター養成講座」(年1事業) ・区民協働学習事業「子どもたちに関わるイベントサポーター養成講座」など(年3事業) ・地域連携支援講座:10回	・講座終了後の受講者アンケートにおいて「今後、地域の文化活動などの取組みなどで活動したい」との回答:50%以上	・上記目標が達成できなければ、事業を再構築します。	・地域教育活動ネットワーク事業「英語活動サポーター養成講座」(平成25年度1回、平成26年度1回) ・区民協働学習事業「子どもたちに関わるイベントサポーター養成講座」など(平成25年度3回、平成26年度3回) ・「地域の文化活動などの取組みなどで活動したい」との回答74%	・地域教育活動ネットワーク事業など:2事業(小学生英語活動を支援するサポーター養成講座)【音楽講座】 ・区民協働学習事業:21回 ・地域連携支援講座:10回 ・生涯学習だよりの発行:12回	・講座終了後の受講者アンケートにおいて「今後、地域の文化活動などの取組みなどで活動したい」との回答:100%	()	-	-				

区政運営基本方針の成果目標の達成に向けた取組状況について(阿倍野区)

豊かな地域社会の形成に向けた区政運営基本方針		平成27年度											
		めざす成果および戦略											
		計画			自己評価								
項目	成果指標と目標値	めざす状態	アウトカム	戦略	戦略のアウトカムに対する有効性	アウトカムの達成状況	前年度	個別	全体	戦略の進捗状況	課題	今後の対応方向 改善策	
					ア:有効であり、継続して推進 イ:有効でないため、戦略を見直す			A:順調 B:順調でない		ア:順調 b:順調でない			
(3)	地域資源の循環												
㊦	地域資源が活用されやすい仕組みづくり	平成27年度中に地域資源に関する情報が得られる仕組みを立ち上げる。	[2-2] 【あべの筋魅力づくり事業】 ・あべの・天王寺ターミナル南側のあべの筋において、魅力あるメインストリートの形成によるにぎわいづくりをめざします。 【阿倍野区の魅力掘り起こし事業】 ・阿倍野区の持つ魅力を活用し、阿倍野区が「にぎわいのあるまち」となることをめざします。	平成30～32年度に実施する「区民モニターアンケート」において、 ・「あべの筋が魅力的な空間形成や回遊性が向上した」と思う区民の割合80%以上をめざすと共に「意識調査を行うことにより阿倍野区の魅力を認識した」と回答する人の割合70%以上となることをめざします。	【あべの筋魅力づくり事業】 ・あべの筋において、安全面にも配慮しつつ魅力的な空間形成や回遊性の向上を図ります。 ・あべの筋を魅力ある空間として維持発展させていくため、民間活力を活用したタウンマネジメントの組織化(TMO)等を図ります。 【阿倍野区の魅力掘り起こし事業】 ・阿倍野区内の観光資源や施設等の潜在的な魅力を掘り起こし、その情報を行政施策や民間による集客力を向上させる取組みに活用できるようにします。	ア	未測定(あべの筋魅力づくり協議会が阿倍野歩道橋でイルミネーションを行うなど、地域団体等によるまちの魅力づくりが進められています。また、平成28年3月に一部区間で芝生が植生されたこともあり、さらに、区民・メディアなど区内外から注目が集まっており、今後、阿倍野区の魅力掘り起こし事業による地域資源も活用したにぎわい創出を行い、阿倍野区が「にぎわいのあるまち」になると考えます。)	-	A	A	a		
㊧	地域資源の循環による継続的な地域活動の促進	地域社会における課題の解決やニーズへの対応に向け住民が新たに取り組む継続的な活動(コミュニティ・ビジネス、ソーシャル・ビジネス)が創出された件数	[3-4] ・地域住民による自律的な地域運営と豊かなコミュニティの形成に向け、あらゆる世代の住民参加を増やします。 ・地域団体の活動状況を理解する区民を増やします。 ・さまざまな主体の連携・協働により実施される地域活動を増やします。	・住んでいる地域で、地域団体の活動内容や会計の状況を知る機会があると感じている区民の割合:29年度までに60%以上 ・地域活動協議会のうち、市の財政的支援を地域の実情に即して活用できていると感じている地域の割合:100% ・地域活動に新たな担い手が増えてきたと感じる地域の割合:29年度までに80%以上 ・地域のまちづくりに関する活動が地域団体やNPO、企業などさまざまな活動主体の連携・協働により進められていると感じている区民の割合:29年度までに60%以上	・自分たちの地域のことについて、地域団体をはじめ、NPO・企業など地域のまちづくりに関する活動主体が課題やテーマごとに考え、話し合い、課題解決に向けて活動する仕組みである地域活動協議会の活動を支援します。 ・若い世代やマンション住民などこれまで地域活動への関わりが薄かった人たちははじめてあらゆる世代を対象として、地域における「つながり」「きずな」の大切さを伝えるとともに、世代間の協力のもと、地域で支え合い助け合って楽しく暮らせるまちづくりを推進します。 ・地域団体がより一層の民主的で開かれた組織運営と会計の透明性の確保ができるよう支援します。 ・地域活動に関心がありながら関わりが薄かった人たちが活動できる機会や場の拡充など、地域活動の担い手の拡大を支援します。 ・若年層が自ら考え、参加するまちづくりの機会を提供します。	ア	住んでいる地域で、地域団体の活動内容や会計の状況を知る機会があると感じている区民の割合:54.8% 地域活動協議会のうち、市の財政的支援を地域の実情に即して活用できていると感じている地域の割合:90.0% 地域活動に新たな担い手が増えてきたと感じる割合:46.7% 地域のまちづくりに関する活動が地域団体やNPO、企業などさまざまな活動主体の連携・協働により進められていると感じている区民の割合:19.7%	25.5% 100.0% 38.0% 23.9%	A A B	A	a		
㊨	本市事務事業の社会的ビジネス化の推進	社会的ビジネス効果が見込まれる事務事業件数	[3-4] ・地域住民による自律的な地域運営と豊かなコミュニティの形成に向け、あらゆる世代の住民参加を増やします。 ・地域団体の活動状況を理解する区民を増やします。 ・さまざまな主体の連携・協働により実施される地域活動を増やします。	・住んでいる地域で、地域団体の活動内容や会計の状況を知る機会があると感じている区民の割合:29年度までに60%以上 ・地域活動協議会のうち、市の財政的支援を地域の実情に即して活用できていると感じている地域の割合:100% ・地域活動に新たな担い手が増えてきたと感じる地域の割合:29年度までに80%以上 ・地域のまちづくりに関する活動が地域団体やNPO、企業などさまざまな活動主体の連携・協働により進められていると感じている区民の割合:29年度までに60%以上	・自分たちの地域のことについて、地域団体をはじめ、NPO・企業など地域のまちづくりに関する活動主体が課題やテーマごとに考え、話し合い、課題解決に向けて活動する仕組みである地域活動協議会の活動を支援します。 ・若い世代やマンション住民などこれまで地域活動への関わりが薄かった人たちははじめてあらゆる世代を対象として、地域における「つながり」「きずな」の大切さを伝えるとともに、世代間の協力のもと、地域で支え合い助け合って楽しく暮らせるまちづくりを推進します。 ・地域団体がより一層の民主的で開かれた組織運営と会計の透明性の確保ができるよう支援します。 ・地域活動に関心がありながら関わりが薄かった人たちが活動できる機会や場の拡充など、地域活動の担い手の拡大を支援します。 ・若年層が自ら考え、参加するまちづくりの機会を提供します。	ア	住んでいる地域で、地域団体の活動内容や会計の状況を知る機会があると感じている区民の割合:54.8% 地域活動協議会のうち、市の財政的支援を地域の実情に即して活用できていると感じている地域の割合:90.0% 地域活動に新たな担い手が増えてきたと感じる割合:46.7% 地域のまちづくりに関する活動が地域団体やNPO、企業などさまざまな活動主体の連携・協働により進められていると感じている区民の割合:19.7%	25.5% 100.0% 38.0% 23.9%	A A B	A	a		

区政運営基本方針の成果目標の達成に向けた取組状況について(阿倍野区)

豊かな地域社会の形成に向けた区政運営基本方針		平成27年度											
		計画					具体的取組						
項目	成果指標と目標値	取組内容	業績目標	撤退基準	前年度までの実績	取組実績	業績目標の達成状況		戦略に対する取組の有効性	課題	改善策		
							: 目標達成 () 取組は予定どおり実施 () 取組を予定どおり実施しなかった	: 目標未達成 () 取組は予定どおり実施 () 取組を予定どおり実施しなかった					
(3)	地域資源の循環												
㊦	地域資源が活用されやすい仕組みづくり	平成27年度中に地域資源に関する情報が得られる仕組みを立ち上げる。	[2-2-2] 阿倍野区内及び区外の在住者を対象に阿倍野区の魅力ある施設やイベント・文化などの認知度と興味度等について調査し、そのギャップを把握・分析します。(年1回) 調査結果を区内企業・商店会等に提供し、集客の取り組みに活用できるようにします。	調査結果の提供を受けた区内企業・商店会等のうち「阿倍野区の魅力が発掘できたと思う」割合70%以上となることをめざします。	上記基準を下回った場合は、まちの魅力向上に関する取組について再検討を行います。	平成25年8月～9月:平成25年度区民モニターアンケートにおいて、阿倍野区のにぎわい創出についての意識を調査しました。 平成26年8月～9月:平成26年度阿倍野区区政会議住環境部において阿倍野区の魅力掘り起こしをテーマとして議論しました。	平成27年9月「阿倍野区の魅力に関するアンケート」を実施。 平成27年11月 調査結果を取りまとめ区内あべのターミナル周辺の企業等に提供しました。 平成27年12月 28年1月 調査結果を踏まえ、集客につなげることを目的として企業が主催し阿倍野区PRイベントを実施しました。 平成28年1月 調査結果を検討し、企業から阿倍野の魅力強化するための提案をいただきました。	未測定			調査結果を提供した企業により阿倍野区の魅力を高めるための課題を踏まえた事業展開が行われましたが、あべのターミナルエリア以外の企業や商店会等へ幅広く提供できていません。	より多くの方に情報を知っていただくため企業や団体等に情報提供を行い、区政会議でもご意見をいただきます。また、調査結果をまとめた冊子を区役所庁舎に配架すると共に区ホームページへの掲載を行います。	
㊧	地域資源の循環による継続的な地域活動の促進	地域社会における課題の解決やニーズへの対応に向け住民が新たに取組む継続的な活動(コミュニティ・ビジネス、ソーシャル・ビジネス)が創出された件数	H29年度までに1件以上	[3-4-2] 中間支援組織(まちづくりセンター)を活用した地域活動協議会の自律運営にかかる支援、並びに地域の特性や実情に応じた活動の担い手の拡大など地域コミュニティの活性化につながる支援を実施 ・広報サポート・会計サポート(10地域)	・まちづくりセンターは地域活動に役立っていると感じる区民の割合:60%以上 ・まちづくりセンターの活動について期待している区民の割合:60%以上	上記割合が50%以下の場合は事業を再構築します。	26年度:まちづくりフォーラム(1回)、広報サポート(1回)、会計サポート(2回)実施 まちづくりセンターは地域活動に役立っていると感じる区民の割合:73.4% まちづくりセンターの活動について期待している区民の割合:51.7%	27年度:地域活動フォーラム(1回)、広報ワークショップ(全体会3回)、会計勉強会(全体会2回)実施	まちづくりセンターは地域活動に役立っていると感じる区民の割合:71.1% まちづくりセンターの活動について期待している区民の割合:77.4%				
㊨	本市事務事業の社会的ビジネス化の推進	社会的ビジネス効果が見込まれる事務事業件数	H29年度までに1件以上	[3-4-2] 中間支援組織(まちづくりセンター)を活用した地域活動協議会の自律運営にかかる支援、並びに地域の特性や実情に応じた活動の担い手の拡大など地域コミュニティの活性化につながる支援を実施 ・広報サポート・会計サポート(10地域)	・まちづくりセンターは地域活動に役立っていると感じる区民の割合:60%以上 ・まちづくりセンターの活動について期待している区民の割合:60%以上	上記割合が50%以下の場合は事業を再構築します。	26年度:まちづくりフォーラム(1回)、広報サポート(1回)、会計サポート(2回)実施 まちづくりセンターは地域活動に役立っていると感じる区民の割合:73.4% まちづくりセンターの活動について期待している区民の割合:51.7%	27年度:地域活動フォーラム(1回)、広報ワークショップ(全体会3回)、会計勉強会(全体会2回)実施	まちづくりセンターは地域活動に役立っていると感じる区民の割合:71.1% まちづくりセンターの活動について期待している区民の割合:77.4%				

区政運営基本方針の成果目標の達成に向けた取組状況について(阿倍野区)

豊かな地域社会の形成に向けた区政運営基本方針		平成27年度											
		めざす成果および戦略											
		計画			自己評価								
項目	成果指標と目標値	めざす状態	アウトカム	戦略	戦略のアウトカムに対する有効性	アウトカムの達成状況	前年度	個別	全体	戦略の進捗状況	課題	今後の対応方向 改善策	
					ア:有効であり、継続して推進 イ:有効でないため、戦略を見直す			A:順調 B:順調でない		a:順調 b:順調でない			
④ 地域公共人材の充実と中間支援組織の活用													
⑦	地域公共人材の充実と活用の促進	地域の活動において、ファシリテーション能力やコーディネート力などをもった人材が活躍していると感じている区民の割合	H29年度までに50%以上	[3-4] ・地域住民による自律的な地域運営と豊かなコミュニティの形成に向け、あらゆる世代の住民参加を増やします。 ・地域団体の活動状況を理解する区民を増やします。 ・さまざまな主体の連携・協働により実施される地域活動を増やします。	・住んでいる地域で、地域団体の活動内容や会計の状況を知る機会があると感じている区民の割合:29年度までに60%以上 ・地域活動協議会のうち、市の財政的支援を地域の実情に即して活用できていると感じている地域の割合:100% ・地域活動に新たな担い手が増えてきたと感じる地域の割合:29年度までに80%以上 ・地域のまちづくりに関する活動が地域団体やNPO、企業などさまざまな活動主体の連携・協働により進められていると感じている区民の割合:29年度までに60%以上	・自分たちの地域のことについて、地域団体をはじめ、NPO・企業など地域のまちづくりに関する活動主体が課題やテーマごとに考え、話し合い、課題解決に向けて活動する仕組みである地域活動協議会の活動を支援します。 ・若い世代やマンション住民などこれまで地域活動への関わりが薄かった人たちははじめあらゆる世代を対象として、地域における「つながり」「きずな」の大切さを伝え、ともに、世代間の協力のもと、地域で支え合い助け合って楽しく暮らせるまちづくりを推進します。 ・地域団体がより一層の民主的に開かれた組織運営と会計の透明性の確保ができるよう支援します。 ・地域活動に関心がありながら関わりの薄かった人たちが活動できる機会や場の拡充など、地域活動の担い手の拡大を支援します。 ・若年層が自ら考え、参加するまちづくりの機会を提供します。	ア	住んでいる地域で、地域団体の活動内容や会計の状況を知る機会があると感じている区民の割合54.8% 地域活動協議会のうち、市の財政的支援を地域の実情に即して活用できていると感じている地域の割合90.0% 地域活動に新たな担い手が増えてきたと感じる割合:46.7% 地域のまちづくりに関する活動が地域団体やNPO、企業などさまざまな活動主体の連携・協働により進められていると感じている区民の割合:19.7%	25.5% 100.0% 38.0% 23.9%	A A A B	A A a		
①	中間支援組織の活用	多様な活動主体が課題やニーズに応じて中間支援組織から支援を受けていると感じている活動主体の割合	H29年度までに50%以上	[3-4] ・地域住民による自律的な地域運営と豊かなコミュニティの形成に向け、あらゆる世代の住民参加を増やします。 ・地域団体の活動状況を理解する区民を増やします。 ・さまざまな主体の連携・協働により実施される地域活動を増やします。	・住んでいる地域で、地域団体の活動内容や会計の状況を知る機会があると感じている区民の割合:29年度までに60%以上 ・地域活動協議会のうち、市の財政的支援を地域の実情に即して活用できていると感じている地域の割合:100% ・地域活動に新たな担い手が増えてきたと感じる地域の割合:29年度までに80%以上 ・地域のまちづくりに関する活動が地域団体やNPO、企業などさまざまな活動主体の連携・協働により進められていると感じている区民の割合:29年度までに60%以上	・自分たちの地域のことについて、地域団体をはじめ、NPO・企業など地域のまちづくりに関する活動主体が課題やテーマごとに考え、話し合い、課題解決に向けて活動する仕組みである地域活動協議会の活動を支援します。 ・若い世代やマンション住民などこれまで地域活動への関わりが薄かった人たちははじめあらゆる世代を対象として、地域における「つながり」「きずな」の大切さを伝え、ともに、世代間の協力のもと、地域で支え合い助け合って楽しく暮らせるまちづくりを推進します。 ・地域団体がより一層の民主的に開かれた組織運営と会計の透明性の確保ができるよう支援します。 ・地域活動に関心がありながら関わりの薄かった人たちが活動できる機会や場の拡充など、地域活動の担い手の拡大を支援します。 ・若年層が自ら考え、参加するまちづくりの機会を提供します。	ア	住んでいる地域で、地域団体の活動内容や会計の状況を知る機会があると感じている区民の割合54.8% 地域活動協議会のうち、市の財政的支援を地域の実情に即して活用できていると感じている地域の割合90.0% 地域活動に新たな担い手が増えてきたと感じる割合:46.7% 地域のまちづくりに関する活動が地域団体やNPO、企業などさまざまな活動主体の連携・協働により進められていると感じている区民の割合:19.7%	25.5% 100.0% 38.0% 23.9%	A A A B	A A a		

区政運営基本方針の成果目標の達成に向けた取組状況について(阿倍野区)

豊かな地域社会の形成に向けた区政運営基本方針		平成27年度										
		計画				具体的取組						
		項目	成果指標と目標値	取組内容	業績目標	撤退基準	前年度までの実績	取組実績	業績目標の達成状況		課題	改善策
:目標達成 ()取組は予定どおり実施 ()取組を予定どおり実施しなかった :目標未達成 ()取組は予定どおり実施 ()取組を予定どおり実施しなかった :撤退基準未達成	:有効 x :有効でないため見直す											
(4) 地域公共人材の充実と中間支援組織の活用												
⑦	地域公共人材の充実と活用の促進	地域の活動において、ファシリテーション能力やコーディネート力などをもった人材が活躍していると感じている区民の割合	H29年度までに50%以上	[3-4-2] 中間支援組織(まちづくりセンター)を活用した地域活動協議会の自律運営にかかる支援、並びに地域の特性や実情に応じた活動の担い手の拡大など地域コミュニティの活性化につながる支援を実施 ・広報サポート・会計サポート(10地域)	・まちづくりセンターは地域活動に役に立っていると感じる区民の割合:60%以上 ・まちづくりセンターの活動について期待している区民の割合:60%以上	上記割合が50%以下の場合は事業を再構築します。	26年度:まちづくりフォーラム(1回)、広報サポート(1回)、会計サポート(2回)実施 まちづくりセンターは地域活動に役に立っていると感じる区民の割合:73.4% まちづくりセンターの活動について期待している区民の割合:51.7%	27年度:地域活動フォーラム(1回)、広報ワークショップ(全体会3回)、会計勉強会(全体会2回)実施	まちづくりセンターは地域活動に役に立っていると感じる区民の割合:71.1% まちづくりセンターの活動について期待している区民の割合:77.4%	()	-	-
				[3-4-3] 超高層ビルのオープンに合わせて、地域・企業との連携を図り、阿倍野区のPRをテーマにした企画を行うことをきっかけに若い担い手を発掘し、地域コミュニティの活性化につながるスタッフ(あべ若丸)の育成を行います。 ・「あべ若丸」の企画・運営による「あべの今昔祭り」の開催 ・地域団体・企業等との交流やイベントへの参加(10回以上)	「あべ若丸」の企画・運営による「あべの今昔祭り」の開催 地域団体・企業等との交流やイベントへの参加(10回以上) 「あべ若丸」の地域イベントでの認知度が50%以上	地域イベントでの認知度が40%未満の場合、また、若い担い手が20人以上集まらなければ、事業を再構築します。	あべ若丸スタッフ人数:25年度 34人、26年度 30人 地域団体・企業等との交流やイベントへの参加:25年度 9回、26年度15回 地域イベントでの認知度:26年度(10月5日今昔祭りにて測定) 44.0%	「あべ若丸」の企画・運営によるイベントの実施:3回 地域団体・企業等との交流やイベントへの参加:20回 地域イベントでの認知度:27年度(3月21日第1回桃ヶ池水質改善プロジェクトにて測定) 58.7% あべ若丸スタッフ人数:35人	()	-	-	
⑧	中間支援組織の活用	多様な活動主体が課題やニーズに応じて中間支援組織から支援を受けていると感じている活動主体の割合	H29年度までに50%以上	[3-4-2] 中間支援組織(まちづくりセンター)を活用した地域活動協議会の自律運営にかかる支援、並びに地域の特性や実情に応じた活動の担い手の拡大など地域コミュニティの活性化につながる支援を実施 ・広報サポート・会計サポート(10地域)	・まちづくりセンターは地域活動に役に立っていると感じる区民の割合:60%以上 ・まちづくりセンターの活動について期待している区民の割合:60%以上	上記割合が50%以下の場合は事業を再構築します。	26年度:まちづくりフォーラム(1回)、広報サポート(1回)、会計サポート(2回)実施 まちづくりセンターは地域活動に役に立っていると感じる区民の割合:73.4% まちづくりセンターの活動について期待している区民の割合:51.7%	27年度:地域活動フォーラム(1回)、広報ワークショップ(全体会3回)、会計勉強会(全体会2回)実施	まちづくりセンターは地域活動に役に立っていると感じる区民の割合:71.1% まちづくりセンターの活動について期待している区民の割合:77.4%	()	-	-

区政運営基本方針の成果目標の達成に向けた取組状況について(阿倍野区)

豊かな地域社会の形成に向けた区政運営基本方針		平成27年度												
		めざす成果および戦略												
		計画			自己評価									
項目	成果指標と目標値	めざす状態	アウトカム	戦略	戦略のアウトカムに対する有効性	アウトカムの達成状況	前年度	個別	全体	戦略の進捗状況	課題	今後の対応方向 改善策		
					ア:有効であり、継続して推進 イ:有効でないため、戦略を見直す			A:順調 B:順調でない		a:順調 b:順調でない				
2	「自律した自治体型の区政運営」に向けて													
(1)	区における住民主体の自治の実現													
⑦	多様な区民の意見やニーズの的確な把握と区政情報の発信	区役所が、区政運営について区民の意見や要望を反映していると思う区民の割合	H29年度までに60%以上	[5 1] ・区民の意見やニーズを適切に把握し、施策・事業に反映していると感じている区民の割合を増やします。	・多様な意見やニーズが区役所に届いていると感じている区民の割合:29年度までに80%以上	・利便性の高いサービスを提供できるよう、区民にとって分かりやすく利用しやすい窓口体系の実現に取り組めます。 ・区の区域内の基礎自治に関する施策や事業など区政運営について、地域実情や特性に応じて多様な区民との対話や協働により推進していくとともに、より多くの区民から区政運営の評価をもらえる仕組みを運営します。	ア	多様な意見やニーズが区役所に届いていると感じている区民の割合:31.2%	15.7%	A	B	A	a	
		区の様々な取組(施策・事業・イベントなど)の中に、区の特長や地域実情に応じたものがあると感じる区民の割合	H29年度までに60%以上	[5 2] ・区の情報発信により区民に必要な情報等が、容易に入手できる割合を増やします。	・区役所からの情報発信により必要とする区政情報が入手できていると感じている区民の割合:27年度までに80%	・区民のニーズをふまえて情報発信を行い、区政情報が確実に多くの世代の区民に届くよう取り組みます。 ・阿倍野区広報戦略に基づき、ビジョン・運営方針と連動した各課の広報計画を策定し、計画に基づいた広報を行い発信力を強化しま	イ	必要とする区政情報が入手できていると感じている区民の割合:48%	58.1%	B	B	a	広報紙配付数やホームページ・ツイッター等の閲覧数が増加傾向にあるにもかかわらず、依然として区政情報の収集方法がわからないという方が多く、これまで以上に情報発信ツールの周知活動が必要だと考えます。	区政情報の収集方法がわかりにくい若い世代にターゲットを絞り、これまでの健診やイベント会場での周知活動に加え、マンション管理組合への情報発信など、より確実に情報が届くよう取り組みます。
		区の様々な取組(施策・事業・イベントなど)に関して、あなたの必要とする情報が伝えられていると感じる区民の割合	H29年度までに60%以上	[5 2] ・区の情報発信により区民に必要な情報等が、容易に入手できる割合を増やします。	・区役所からの情報発信により必要とする区政情報が入手できていると感じている区民の割合:27年度までに80%	・区民のニーズをふまえて情報発信を行い、区政情報が確実に多くの世代の区民に届くよう取り組みます。 ・阿倍野区広報戦略に基づき、ビジョン・運営方針と連動した各課の広報計画を策定し、計画に基づいた広報を行い発信力を強化しま	イ	必要とする区政情報が入手できていると感じている区民の割合:48%	58.1%	B	B	a	広報紙配付数やホームページ・ツイッター等の閲覧数が増加傾向にあるにもかかわらず、依然として区政情報の収集方法がわからないという方が多く、これまで以上に情報発信ツールの周知活動が必要だと考えます。	区政情報の収集方法がわかりにくい若い世代にターゲットを絞り、これまでの健診やイベント会場での周知活動に加え、マンション管理組合への情報発信など、より確実に情報が届くよう取り組みます。

区政運営基本方針の成果目標の達成に向けた取組状況について(阿倍野区)

豊かな地域社会の形成に向けた区政運営基本方針		平成27年度										
		計画				具体的取組						
		項目	成果指標と目標値	取組内容	業績目標	撤退基準	前年度までの実績	取組実績	業績目標の達成状況		課題	改善策
戦略に対する取組の有効性												
2		「自律した自治体型の区政運営」に向けて										
(1)		区における住民主体の自治の実現										
⑦	多様な区民の意見やニーズの的確な把握と区政情報の発信	区役所が、区政運営について区民の意見や要望を反映していると思う区民の割合	H29年度までに60%以上	[5 1 1] 幅広く区民の意見やニーズを把握するとともに、区の施策や事業などについて、区民の客観的な評価を得るなど、施策立案にかかる基礎データを収集するためにアンケートを実施します。 ・区民アンケート調査の実施(年2回)	区民モニターアンケート回収率:50%以上	上記目標が達成できなければ、事業を再構築します。	平成26年度実績 アンケート実施(年2回)(回答率第1回30.14%、第2回25.61%) 平成25年度実績 アンケート実施(年2回)(回答率第1回66%、第2回57.3%)	・平成28年1月末から2月初めにかけて、アンケートを実施(1回)	区民モニターアンケート回収率:26.98%	()	当初は計画どおり実施する予定で2回分の設問を準備していたが、関係機関との調整の遅れにより、2回に分けてアンケートを実施する期間を十分確保することができなくなり、1回にまとめて実施することとなったため、設問数が増え、アンケートの回収率が昨年度平均を下回ってしまった。	アンケートを2回に分けて実施できるよう、事務の進捗管理を徹底する。 統計的に必要なアンケートの回収率(数)について再度検討し、業績目標を見直す。
		区政におけるさまざまな課題について意見を述べたり区政に関する評価を行う区政会議を運営します。 ・全体会及び各部会の開催:各3回程度		区政会議での意見・提案をもとに施策・事業に反映します。(1事業以上)	・上記目標が達成できなければ、会議運営手法を再構築します。	全体会の開催(3回)6月23日・10月14日・12月16日 各部会:各2回開催	全体会:3回開催(6月30日、9月29日、1月21日) 各部会(2部会):各2回開催(7月27日、8月25日、8月26日、9月14日)	区政会議での意見・提案を反映した事業:2事業	()	-	-	
		区の様々な取組(施策・事業・イベントなど)の中に、区の特性や地域実情に応じたものがあると感じる区民の割合	H29年度までに60%以上	[5 2 1] 阿倍野区将来ビジョンの実現に向け、区広報戦略に基づいた効果的・効率的でわかりやすい情報発信を行います。 広報紙.....毎月発行 ホームページ.....月平均20件 ツイッター.....月平均200件 広報板.....月平均10件 AR動画.....毎月配信	・区民アンケート等において、区役所からの情報発信がこれまでよりわかりやすくなったと感じている区民の割合:50%	・上記目標が30%未満であれば取組みを再構築します。	・区広報戦略の策定:26年1月・広報紙:毎月発行・区内市立小中学校の特色ある取組みを発信:25年11月～26年9月・ホームページ:月平均25件(26年度)・ツイッターフォローア:2,016人(27年3月末)・広報板:67件掲示(26年度)・AR動画配信:26年10月～毎月配信中	わかりやすい情報発信をテーマに各課広報担当職員への研修:4回 ・広報紙:毎月発行 ・ホームページ:月平均50件 ・ツイッター:月平均290件 ・広報板:月平均14件 ・AR動画:毎月配信	未測定(わかりやすく情報発信ができていると感じている区民の割合は25年度:27.5% 26年度:48.6%と上昇しており、また区役所からの情報発信の内容は十分と感じている区民の割合は26年度30.5% 27年度33.5%と上昇し、内容の充実等わかりやすく情報発信ができていると考える。)	()	-	-
区の様々な取組(施策・事業・イベントなど)に関して、あなたの必要とする情報が伝えられていると感じる区民の割合	H29年度までに60%以上	[5 2 1] 阿倍野区将来ビジョンの実現に向け、区広報戦略に基づいた効果的・効率的でわかりやすい情報発信を行います。 広報紙.....毎月発行 ホームページ.....月平均20件 ツイッター.....月平均200件 広報板.....月平均10件 AR動画.....毎月配信	・区民アンケート等において、区役所からの情報発信がこれまでよりわかりやすくなったと感じている区民の割合:50%	・上記目標が30%未満であれば取組みを再構築します。	・区広報戦略の策定:26年1月・広報紙:毎月発行・区内市立小中学校の特色ある取組みを発信:25年11月～26年9月・ホームページ:月平均25件(26年度)・ツイッターフォローア:2,016人(27年3月末)・広報板:67件掲示(26年度)・AR動画配信:26年10月～毎月配信中	わかりやすい情報発信をテーマに各課広報担当職員への研修:4回 ・広報紙:毎月発行 ・ホームページ:月平均50件 ・ツイッター:月平均290件 ・広報板:月平均14件 ・AR動画:毎月配信	未測定(わかりやすく情報発信ができていると感じている区民の割合は25年度:27.5% 26年度:48.6%と上昇しており、また区役所からの情報発信の内容は十分と感じている区民の割合は26年度30.5% 27年度33.5%と上昇し、内容の充実等わかりやすく情報発信ができていると考える。)	()	-	-		

区政運営基本方針の成果目標の達成に向けた取組状況について(阿倍野区)

豊かな地域社会の形成に向けた区政運営基本方針		平成27年度											
		めざす成果および戦略											
項目	成果指標と目標値	計画			自己評価								
		めざす状態	アウトカム	戦略	戦略のアウトカムに対する有効性	アウトカムの達成状況	前年度	個別	全体	戦略の進捗状況	課題	今後の対応方向 改善策	
ア:有効であり、継続して推進 イ:有効でないため、戦略を見直す	A:順調 B:順調でない				A:順調 B:順調でない								
④ 区民の参画と協働による区政運営	区役所が、区の様々な取組(施策・事業・イベントなど)について、それらの企画・計画段階において、区民の意見や要望を反映していると思う区民の割合	H29年度までに60%以上	[5.1] 区民の意見やニーズを適切に把握し、施策・事業に反映していると感じている区民の割合を増やします。	・多様な意見やニーズが区役所に届いていると感じている区民の割合:29年度までに80%以上	・利便性の高いサービスを提供できるよう、区民にとって分かりやすく利用しやすい窓口体系の実現に取り組めます。 ・区の区域内の基礎自治に関する施策や事業など区政運営について、地域実情や特性に応じて多様な区民との対話や協働により推進していくとともに、より多くの区民から区政運営の評価をもらえる仕組みを運営します。	ア	多様な意見やニーズが区役所に届いていると感じている区民の割合:31.2%	15.70%	A	A	a		
	区役所が、区の様々な取組(施策・事業・イベントなど)について、それらの終了時に意見を聞くなど、区民からの評価を受け、これらを区政運営の改善につなげていると思う区民の割合	H29年度までに60%以上	[5.1] 区民の意見やニーズを適切に把握し、施策・事業に反映していると感じている区民の割合を増やします。	・多様な意見やニーズが区役所に届いていると感じている区民の割合:29年度までに80%以上	・利便性の高いサービスを提供できるよう、区民にとって分かりやすく利用しやすい窓口体系の実現に取り組めます。 ・区の区域内の基礎自治に関する施策や事業など区政運営について、地域実情や特性に応じて多様な区民との対話や協働により推進していくとともに、より多くの区民から区政運営の評価をもらえる仕組みを運営します。	ア	多様な意見やニーズが区役所に届いていると感じている区民の割合:31.2%	15.70%	A	A	a		
						70.20%	B						
						70.20%	B						

区政運営基本方針の成果目標の達成に向けた取組状況について(阿倍野区)

豊かな地域社会の形成に向けた区政運営基本方針		平成27年度									
		具体的取組									
		計画				自己評価					
項目	成果指標と目標値	取組内容	業績目標	撤退基準	前年度までの実績	取組実績	業績目標の達成状況		戦略に対する取組の有効性	課題	改善策
							:目標達成 ()	:目標未達成 ()			
④ 区民の参画と協働による区政運営	区役所が、区の様々な取組(施策・事業・イベントなど)について、それらの企画・計画段階において、区民の意見や要望を反映していると思う区民の割合	[5-1-1] 幅広く区民の意見やニーズを把握するとともに、区の施策や事業などについて、区民の客観的な評価を得るなど、施策立案にかかる基礎データを収集するためにアンケートを実施します。 ・区民アンケート調査の実施(年2回)	区民モニターアンケート回収率:50%以上	上記目標が達成できなければ、事業を再構築します。	平成26年度実績 アンケート実施(年2回)(回答率第1回30.14%、第2回25.61%) 平成25年度実績 アンケート実施(年2回)(回答率第1回66%、第2回57.3%)	・平成28年1月末から2月初めにかけて、アンケートを実施(1回)	区民モニターアンケート回収率:26.98%	()	当初は計画どおり実施する予定で2回分の設問を準備していたが、関係機関との調整の遅れにより、2回に分けてアンケートを実施する期間を十分確保することができなくなり、1回にまとめて実施することとなったため、設問数が増え、アンケートの回収率が昨年度平均を下回ってしまった。	アンケートを2回に分けて実施できるよう、事務の進捗管理を徹底する。 統計的に必要なアンケートの回収率(数)について再度検討し、業績目標を見直す。	
		[5-1-2] 区役所において、区民の日常生活に関する相談や要望を受け付け、局、事業所などと連携し、迅速かつ適切に対応します。 市民の声・ご意見箱:随時 弁護士による法律相談:月2回 司法書士による相続登記・後見・借金問題相談:月1回 行政書士による相続遺言帰化相談:月1回 税務相談・不動産相談・行政相談:月1回 就労相談:毎週金曜	・法律相談等を利用された方へアンケートを実施し、相談対応に満足した方の割合:80%以上	・上記目標が達成できなければ、事業を再構築します。	市民の声(平成25年度300件、平成26年度144件(2月末現在)) ご意見箱(平成25年度59件、平成26年度27件(2月末現在)) 弁護士による法律相談:月2回 行政書士による相続遺言帰化相談:月1回 税務相談・不動産相談・行政相談:月1回 就労相談:毎週金曜 相談対応への満足度91.5%	市民の声:148件 意見箱:45件(2月末時点) 弁護士による法律相談:月2回 司法書士による相続登記・後見・借金問題相談:月1回 行政書士による相続遺言帰化相談:月1回 税務相談・不動産相談・行政相談:月1回(税務相談のみ2・3月休止) 就労相談:毎週金曜	法律相談等を利用された方へアンケートを実施し、相談対応に満足した方の割合:94%	()	-	-	
		[5-1-3] 区政におけるさまざまな課題について意見を述べたり区政に関する評価を行う区政会議を運営します。 ・全体会及び各部会の開催:各3回程度	区政会議での意見・提案をもとに施策・事業に反映します。(1事業以上)	・上記目標が達成できなければ、会議運営手法を再構築します。	全体会の開催(3回)6月23日・10月14日・12月16日 各部会:各2回開催	全体会:3回開催(6月30日、9月29日、1月21日) 各部会(2部会):各2回開催(7月27日、8月25日、8月26日、9月14日)	区政会議での意見・提案を反映した事業:2事業	()	-	-	
	[5-1-1] 幅広く区民の意見やニーズを把握するとともに、区の施策や事業などについて、区民の客観的な評価を得るなど、施策立案にかかる基礎データを収集するためにアンケートを実施します。 ・区民アンケート調査の実施(年2回)	区民モニターアンケート回収率:50%以上	上記目標が達成できなければ、事業を再構築します。	平成26年度実績 アンケート実施(年2回)(回答率第1回30.14%、第2回25.61%) 平成25年度実績 アンケート実施(年2回)(回答率第1回66%、第2回57.3%)	・平成28年1月末から2月初めにかけて、アンケートを実施(1回)	区民モニターアンケート回収率:26.98%	()	当初は計画どおり実施する予定で2回分の設問を準備していたが、関係機関との調整の遅れにより、2回に分けてアンケートを実施する期間を十分確保することができなくなり、1回にまとめて実施することとなったため、設問数が増え、アンケートの回収率が昨年度平均を下回ってしまった。	アンケートを2回に分けて実施できるよう、事務の進捗管理を徹底する。 統計的に必要なアンケートの回収率(数)について再度検討し、業績目標を見直す。		
	区役所が、区の様々な取組(施策・事業・イベントなど)について、それらの終了時に意見を聞くなど、区民からの評価を受け、これらを区政運営の改善につなげていると思う区民の割合	[5-1-3] 区政におけるさまざまな課題について意見を述べたり区政に関する評価を行う区政会議を運営します。 ・全体会及び各部会の開催:各3回程度	区政会議での意見・提案をもとに施策・事業に反映します。(1事業以上)	・上記目標が達成できなければ、会議運営手法を再構築します。	全体会の開催(3回)6月23日・10月14日・12月16日 各部会:各2回開催	全体会:3回開催(6月30日、9月29日、1月21日) 各部会(2部会):各2回開催(7月27日、8月25日、8月26日、9月14日)	区政会議での意見・提案を反映した事業:2事業	()	-	-	

区政運営基本方針の成果目標の達成に向けた取組状況について(阿倍野区)

豊かな地域社会の形成に向けた区政運営基本方針		平成27年度										
		めざす成果および戦略										
		計画			自己評価							
項目	成果指標と目標値	めざす状態	アウトカム	戦略	戦略のアウトカムに対する有効性	アウトカムの達成状況	前年度	個別	全体	戦略の進捗状況	課題	今後の対応方向 改善策
					ア:有効であり、継続して推進 イ:有効でないため、戦略を見直す			A:順調 B:順調でない		a:順調 b:順調でない		
(2) 区民に身近な総合行政の拠点としての区役所づくり												
⑦	区における市政の総合窓口機能の充実	過去1年間に、区役所に日常生活に関する相談や要望を行った区民のうち、区役所が、区における市政の総合窓口として、適切に対応したと思う区民の割合	H29年度までに80%以上	[5-1] ・区民の意見やニーズを適切に把握し、施策・事業に反映していると感じている区民の割合を増やします。 ・日常生活に関するさまざまな相談や要望について、区役所が適切に対応していると感じている区民の割合:29年度までに80%以上	・利便性の高いサービスを提供できるよう、区民にとって分かりやすく利用しやすい窓口体系の実現に取り組めます。 ・区の区域内の基礎自治に関する施策や事業など区政運営について、地域実情や特性に応じて多様な区民との対話や協働により推進していくとともに、より多くの区民から区政運営の評価をもらえる仕組みを運営します。	ア	多様な意見やニーズが区役所に届いていると感じている区民の割合:31.2% 日常生活に関するさまざまな相談や要望について、区役所が適切に対応していると感じている区民の割合:65.8%	15.7% 70.2%	A B	A a		
(3) 区民が満足・納得できる区役所運営												
⑦	庁舎案内や窓口業務におけるサービス向上	区役所を過去1年間に訪れた区民のうち、来庁者への案内サービスや窓口での対応が良いと感じた区民の割合 区役所来庁者に対する窓口サービスに係る民間事業者の覆面調査員による調査(5点満点)での点数	H29年度までに80%以上 H29年度までに3.5点以上	[5-4] ・組織における仕事のめざすべき方向性が明確化・共有化されていると感じている職員の割合を向上させます。 ・効果効率的に業務を進めるため職員どうしの協力・連携がとれている職場である・どちらかといえばそうであると感じている職員の割合:27年度までに90%以上	・真の住民自治の確立に向けた改革を進めたいため、市政改革室や人事室の取組みと連携しながら職員が前向きに主体性・チャレンジ意識を持つとともに、職員の気づきを促進する取組みを進めます。 ・ファシリテーション能力やコーディネート力など市民満足度を高める能力の向上に取り組む、市民から信頼される自律的な職員と組織風土づくりを進めます。 ・職員間で仕事のめざすべき方向性や目標の明確化・共有化、人事評価の透明性のより一層の向上などを通じて、職員の士気や組織パフォーマンスの向上に向けた人材マネジメントを推進します。	イ	・仕事にやりがいを感じている・ある程度感じている職員の割合:77.2% ・効果効率的に業務を進めるため職員どうしの協力・連携がとれている職場である・どちらかといえばそうであると感じている職員の割合:71.7%	78.7% 72.1%	B B	B a	・「仕事にやりがいを感じている」「職員どうしの協力・連携がとれている」と感じている職員の割合がわずかに低下しています。改革を進めるために必要なスキルやモチベーションの向上に向けた更なる取組が必要で	・改革を進めていくため、職員の気づきやチャレンジ意識を引き出す取組を進めます。 ・職員の士気や組織パフォーマンスの向上に向けた取組を推進することにより、区民から信頼される自律的な職員と組織風土づくりを進めます。
⑧	区民が納税者の視点で納得できる効果的・効率的な業務運営	効果的・効率的な業務運営に向け、区の実情や特性に応じて、区役所の取組が進められていることを知っている区民の割合	H29年度までに60%以上	[5-3] ・職員の能力を向上させるとともに、職員どうしの連携が取れている柔軟な組織であると感じている職員の割合を増やします。 ・効果・効率的に業務をすすめるため、職員どうしの協力・連携が取れている職場である・どちらかといえばそうであると感じている職員の割合:27年度までに90%以上 ・区役所の効率的な業務運営に向け、区の実情や特性に応じて取組みが進められていると感じている区民の割合:27年度までに80%以上	・職員の多能工化・横のつながりづくりによる協力の強化・チームワークを強化し、スリムで柔軟な組織づくりを行います。	イ	・効果・効率的に業務をすすめるため、職員どうしの協力・連携が取れている職場である・どちらかといえばそうであると感じている職員の割合:71.7% ・区役所の効率的な業務運営に向け、区の実情や特性に応じて取組みが進められていると感じている区民の割合:25%	72.1% 26.7%	B B	B b	直接日々の具体的な業務の執行を通じ、異なった課の職員どうしが協力・連携することは困難です。	同一担当内で職員どうしの協力・連携を進めチームワークを強化するとともに、業務を執行するうえで必要な情報については組織全体で共有し、スリムで柔軟な組織づくりを進めます。
				[5-4] ・組織における仕事のめざすべき方向性が明確化・共有化されていると感じている職員の割合を向上させます。 ・効果効率的に業務を進めるため職員どうしの協力・連携がとれている職場である・どちらかといえばそうであると感じている職員の割合:27年度までに90%以上	・真の住民自治の確立に向けた改革を進めたいため、市政改革室や人事室の取組みと連携しながら職員が前向きに主体性・チャレンジ意識を持つとともに、職員の気づきを促進する取組みを進めます。 ・ファシリテーション能力やコーディネート力など市民満足度を高める能力の向上に取り組む、市民から信頼される自律的な職員と組織風土づくりを進めます。 ・職員間で仕事のめざすべき方向性や目標の明確化・共有化、人事評価の透明性のより一層の向上などを通じて、職員の士気や組織パフォーマンスの向上に向けた人材マネジメントを推進します。	イ	・仕事にやりがいを感じている・ある程度感じている職員の割合:77.2% ・効果効率的に業務を進めるため職員どうしの協力・連携がとれている職場である・どちらかといえばそうであると感じている職員の割合:71.7%	78.7% 72.1%	B B	B a	・「仕事にやりがいを感じている」「職員どうしの協力・連携がとれている」と感じている職員の割合がわずかに低下しています。改革を進めるために必要なスキルやモチベーションの向上に向けた更なる取組が必要で	・改革を進めていくため、職員の気づきやチャレンジ意識を引き出す取組を進めます。 ・職員の士気や組織パフォーマンスの向上に向けた取組を推進することにより、区民から信頼される自律的な職員と組織風土づくりを進めます。

区政運営基本方針の成果目標の達成に向けた取組状況について(阿倍野区)

豊かな地域社会の形成に向けた区政運営基本方針		平成27年度												
		計画					具体的取組							
		項目	成果指標と目標値	取組内容	業績目標	撤退基準	前年度までの実績	取組実績	業績目標の達成状況		課題	改善策		
：目標達成 () 取組は予定どおり実施 () 取組を予定どおり実施しなかった ：目標未達成 () 取組は予定どおり実施 () 取組を予定どおり実施しなかった 撤退基準未達成	戦略に対する取組の有効性 ：有効 ×：有効でないため見直す													
(2) 区民に身近な総合行政の拠点としての区役所づくり														
⑦	区における市政の総合窓口機能の充実	過去1年間に、区役所に日常生活に関する相談や要望を行った区民のうち、区役所が、区における市政の総合窓口として、適切に対応したと思う区民の割合	H29年度までに80%以上	[5-1-2] 区役所において、区民の日常生活に関する相談や要望を受け付け、局、事業所などと連携し、迅速かつ適切に対応します。 市民の声・ご意見箱：随時 弁護士による法律相談：月2回 司法書士による相続登記・後見・借金問題相談：月1回 行政書士による相続遺言簡化相談：月1回 行政書士による相続遺言簡化相談：月1回 税務相談・不動産相談・行政相談：月1回 就労相談：毎週金曜	・法律相談等を利用された方へアンケートを実施し、相談対応に満足した方の割合：80%以上	・上記目標が達成できなければ、事業を再構築します。	市民の声(平成25年度300件、平成26年度144件(2月末現在)) ご意見箱(平成25年度59件、平成26年度27件(2月末現在)) 弁護士による法律相談：月2回 行政書士による相続遺言簡化相談：月1回 行政書士による相続遺言簡化相談：月1回 税務相談・不動産相談・行政相談：月1回 就労相談：毎週金曜 相談対応への満足度91.5%	市民の声：148件 ご意見箱：45件 (2月末時点) 弁護士による法律相談：月2回 司法書士による相続登記・後見・借金問題相談：月1回 行政書士による相続遺言簡化相談：月1回 税務相談・不動産相談・行政相談：月1回 (税務相談のみ2・3月休止) 就労相談：毎週金曜	法律相談等を利用された方へアンケートを実施し、相談対応に満足した方の割合：94%	()	-	-	-	-
(3) 区民が満足・納得できる区役所運営														
⑦	庁舎案内や窓口業務におけるサービス向上	区役所を過去1年間に訪れた区民のうち、来庁者への案内サービスや窓口での対応が良いと感じた区民の割合 区役所来庁者に対する窓口サービスに係る民間事業者の覆面調査員による調査(5点満点)での点数	H29年度までに80%以上 H29年度までに3.5点以上	[5-4-1] 阿倍野区職員力向上基本プランに基づき、改革を担う自律的な職員づくりをめざし、研修ニーズに応じた他区・民間企業への職員の出張・研修を実施します。 ・他区、民間企業への職員の出張・研修の実施：年1回以上 ・区長・副区長との意見交換会：月1回 職員人材開発センターを活用しつつ、実務能力向上に向けた各種研修を実施し、職員の自発的な能力開発を支援し、組織力の向上をめざします。 ・区職員力向上研修を実施：5回 [5-4-2] 職員のモチベーション向上の取組み ・職員表彰制度の継続実施：年1回 ・ほめる・認める組織風土の醸成のための「GOOD JOBカード」の継続実施：通年 改革・改善の取組み ・区政改革PTを中心とした改善の取組みを行い、改善事例共有会を実施：年1回 ・区長室に各課方針および施策の実施内容とスケジュールを見える化し進捗管理の実施：定期報告(月1回)	・毎月実施している来庁者アンケートで区民サービス向上にかかる月ごとの取組みに対して肯定的な回答をした区民の割合：80%以上	・上記目標が達成できなければ、事業を再構築します。	他区実施研修参加 ・生野区役所クラウドファンディング勉強会 ・福島区役所がスター・チャリ等作成研修 民間企業の改善事例発表会視察 区長・副区長との意見交換会 17回 接遇研修 (実地研修) 2日間 (ステップアップ研修) 5回 (管理職向け研修) 1回	・他区、民間企業への職員の出張・研修の実施：年1回 ・区長・副区長との意見交換会：12回 ・区職員力向上研修を実施：5回	・毎月実施している来庁者アンケートで区民サービス向上にかかる月ごとの取組みに対して肯定的な回答をした区民の割合：83.1%	()	-	-	-	-
				[5-3-1] 職員の流動性を高め互いにカバーし合う組織づくりを行います。 ・担当外業務の応援体制の運用実施年5回以上	・効果・効率的に業務をすすめるため、職員どうしの協力・連携が取れている職場である。どちらかといえばそうであると感じている職員の割合：90%	・上記目標が達成できなければ、取組を再構築します。	担当外業務の応援体制の検討・構築	各業務の分析を行い、応援体制の検討を行いました。 担当外業務の試行実施にかかる仕組みづくりの検討を行いました。	・効果・効率的に業務をすすめるため、職員どうしの協力・連携が取れている職場である。どちらかといえばそうであると感じている職員の割合：71.7%	×	担当外業務の試行実施にかかる仕組みづくりの検討を進めてまいりましたが、業務の専門性・特殊性が大きく、一時的に他課の業務に従事することが困難です。	効果・効率的に業務を遂行するため、担当外業務応援体制に扱われることなく、事業を再構築します。		
⑧	区民が納税者の視点で納得できる効果的・効率的な業務運営	効果的・効率的な業務運営に向け、区の実情や特性に応じて、区役所の取組が進められていることを知っている区民の割合	H29年度までに60%以上	[5-4-2] 職員のモチベーション向上の取組み ・職員表彰制度の継続実施：年1回 ・ほめる・認める組織風土の醸成のための「GOOD JOBカード」の継続実施：通年 改革・改善の取組み ・区政改革PTを中心とした改善の取組みを行い、改善事例共有会を実施：年1回 ・区長室に各課方針および施策の実施内容とスケジュールを見える化し進捗管理の実施：定期報告(月1回)	・区や課の方針等について、職員間で情報共有されていると感じている職員の割合：70%以上	・上記目標が達成できなければ、事業を再構築します。	職員表彰制度要綱制定 「GOOD JOBカード」実施 所属内改善事例共有会(10月30日)実施 区長室に各課方針および施策の実施内容とスケジュールを見える化し、進捗管理の実施：月1回 オフサイトミーティング1回	・職員表彰制度の継続実施：年1回 ・ほめる・認める組織風土の醸成のための「GOOD JOBカード」の継続実施：通年 ・オフサイトミーティングの実施：年1回 ・区政改革PTを中心とした改善の取組みを行い、改善事例共有会を実施：年1回 ・区長室に各課方針および施策の実施内容とスケジュールを見える化し進捗管理の実施：定期報告(月1回)	・区や課の方針等について、職員間で情報共有されていると感じている職員の割合：78.7%	()	-	-	-	